

「第3回 小樽市雪対策基本計画策定 分科会」意見交換内容（概要版）

日時：令和元年10月31日 13:30～15:30

場所：小樽市消防庁舎6階 講堂

出席者：委員18名

傍聴者：2名

事務局：2名

○：委員からの意見等

→：事務局の意見等

（ ）：補足説明

1 貸出ダンプ制度の抜本的な見直し（道路以外の雪の排雪）について

○排雪の地域負担分と公費負担分の同時作業について、予算のことは別にして、小路や敷地周りの雪を排雪すると、次に雪が降った時に雪を寄せられるので市民は助かると思います。

→作業を一度で終わらせれば、貸出ダンプ制度の趣旨と皆さんの敷地周りの除雪問題も解決できるかもしれません。

○4 t ダンプトラックに積込む雪の量が、山盛りであったり少なかったりします、その際、同じ料金を支払っているのか疑問です。

→市が抱えている問題としてダンプトラックの積込量があります。1往復を4 t ダンプトラックの場合5 m³で精算しますので、現場の積込量に関係なく支払っております。

○年間契約をしている所はダンプトラックに山積みで運搬しているが、運搬回数での契約ですと、満杯ではなく回数を増やしている現場があるので、チェックは大事かなと思います。

→常時、人を張りつかせるのは難しいのが現状です。

○ダンプ組合の車を使わないとコストが高くなるとか、知人のダンプトラックを使うとコストが安くなる等を聞いたことがあります。ダンプ組合に登録していないダンプトラックは利用不可とあるが緩和してもいいのではないかな。

→市が負担して業者を派遣するとなると一定の基準がありますので、ダンプ組合に入っていない業者ですと、現状難しいと思います。

2 貸出ダンプ制度の抜本的な見直し（市の財政負担）について

○排雪回数を1回と決めてしまうと、大雪の際に利用できなくなる場合があるので、大雪の時はその限りではない等の柔軟性を持たせた方がいいと思います。

3 貸出ダンプ制度の抜本的な見直し（助成金制度等）について

○現状問題となっているのは、町会が窓口となっている場合とそうでない場合があり、そうでない場合は利用状況が把握できていないです。

○町会で排雪費の積み立てをしているが、年々排雪費用が高騰しており負担となっています。

○地域と公費の負担割合を五分五分にした場合、地域負担が増えると思います。

○地域負担額の内容などのようなものでしょうか

→積み込み費用ですが、その中に重機の時間当たりの単価、交通誘導員費用、人力の作業員の費用が含まれています。

○3案（助成金制度・パートナーシップ制度・現行制度の改善）あるがどちらがいいかと聞かれても答えづらい。

→現在3案を考えており、さらに良案があればお聞きして今後の方向性として定めていきたいと考えております。

○生活道路については貸出ダンプ制度を各個人で利用している状況ですが、個人的には貸出ダンプ制度かパートナーシップ制度で検討してほしい。

→貸出ダンプ制度については、利用団体にダンプトラックを派遣しますので、町会との関わりは現状ほとんどありません。しかし、市の作業か個人の作業か安全面に対しても、市と町会との情報共有が必要と考えております。

○貸出ダンプ制度を利用した排雪作業がいつ行われるのか分からのので、情報共有できないでしょうか。

→作業日の情報共有は必要と考えておりますが、共有の方法については今後の検討材料にしたいと思います。

4 貸出ダンプ制度の抜本的な見直し（今後の方向性）について

○町会との情報共有の所で、貸出ダンプ申請時に町会の連名にするとあったが、その場合町会が責任を持つことになります。現状役員の高齢化や人員不足の中で、この業務と責任が増えるのは非常に問題があります。

→地域の中でどのような作業が行われているか、市・町会・利用団体の情報共有のためのものです。今の意見も参考にさせていただき次回に御提案させていただきます。

○貸出ダンプ制度を利用する生活道路と市が排雪する道路が明確に地図にないのでわからない。

→11月より市ホームページにて除雪路線図を公表いたします。

5 新たな協働の取組の可能性（町会活動の支援）について

○私の町会内にも市の職員・OB等たくさんいます。OBの方に町会の協力をお願いして何回も断われたこともあります。各町会が高齢化による後継者不足、なり手不足です。以前に前山田市長の時は職員が率先して町会活動に関わると言っていた時期がありました。支援制度よりも地域に住んでいる職員が積極的に町会に関わってくれるようにしてほしい。

○市の職員以外の臨時・パート等含めた方々にも参加していただければと思います。例えば町会の役員になった職員には、手当みたいなものがあれば納得してくれる方もいるのではと思います。

→貴重な御意見ありがとうございます。市と町会との関わりは必要と考えております。

6 その他

○雪押場は箇所数がどのくらいでしょうか。

→439箇所ありまして、決して多くはありません。市としても新たな場所を探しておりますが、町会の方々からも情報提供いただければと思います。

○前回の分科会にて小型除雪機の助成についてお話がありましたが、具体的な内容が今回の協働の取組に検討されるのでしょうか。

→皆さんの御意見を伺いながら、小型除雪機を活用した取組を協働の取組の中に取り込みたいと考えております。

7 次回の開催について

→次回の分科会を11月25日（月）に予定しております。